

くらしの願い、まっすぐ市政に届けます



井本 ゆういち ニュース

日本共産党市会議員

第 23 号

2022年
12月18日

井本 有一
☎080-3831
-3159

12月議会で一般質問

12月定例市議会が、開かれていきます。私、井本ゆういちが12月8日に一般質問をしました。



質問中の井本ゆういち

飲食業などへ今こそ

支援金を

コロナ感染の終息が見通せない中、スナックや居酒屋などで客足が戻らず店の家賃支払いのため副業を掛け持ちしてしのいでいるなど、厳しい経営が続いている

なか、コロナ初期に借入れた各種融資の償還期間を迎える事業者が増え、倒産、廃業の危機が増している。

しかし、県や市が実施してきた事業者支援金は終了している。

質問 市内事業者の倒産や廃業の実態はどうか。

答弁 一昨年在が29件、昨年が26件、今年は10月までで32件である。

質問 今年倒産が増えてきている。市の事業者支援金はなぜ終了したのか。再び実施してはどうか。

答弁 今年度は行動制限がなく、経済情勢報告でも持ち直しているとの判断だ。売上げ減少の事業者への一律の支援策から、新分野展開や業態転換を促す事業再構築支援を進める。

飲食街の現状は

市内アロチで62年にわたり営業を続けるラーメン屋の店主はこう語ります。今までドルシヨックやオイルシヨックといった不景気はあったが、こんな3年間も続くようなものはなかった。不景気には浮いたり沈んだり波があったが、バブル崩壊後、消費税の引き上げのたびにお客さんの足が遠のいて、このコロナで本当にトドメを刺されたような状態になっている。こういう本当に厳しい飲食街の状況に対して、新分野展開や業態転換でなく、コロナ前の客足が戻るのを見届けるまで事業者支援策を講じていただきたい。





12月11日(日)に日本共産党と後援会の決起集会が開かれ、私井本ゆういちが県議選に向けた決意表明をし、松坂みち子県議候補が知事選のお礼と決意表明、宮本たけし衆院議員が国会報告をしました。



使いにくいぞ??

プレミアム付商品券

和歌山市が発行したプレミアム付商品券について、多くの皆さんから苦情が出ています。

「せっかく買ったのに地域限定チケットが近くのスーパーで使えない。仕方ないので普段しない外食で使うしかなく、お得感がなかった。」

「コールセンターに電話したが商品券の目的や市の担当課がどこなのかも教えてくれなかった。」

「使い道が無いので消費者センターに相談して、払い戻してもらった。」

「デジタルも20桁のコードナンバーを入力するのに苦労した。」

日本共産党市議団は経済文教委員会で森下議員がこれらの声を紹介し、改善を求めました。

マイドキュメント

みなさんはNHKの朝ドラ「舞いあがれ！」見てますか？

私はパソコンに操縦かんやスロットルをつないで飛行機の操縦を再現するフライトシミュレータというものにはまっていた時期があり、今でもたまに南の島の遊覧飛行を楽しんでいます。

飛行機の操縦は難しく、主人公の舞ちゃんも苦戦していますね。何がむずかしいって、車のように速度を落として安全運転というわけにいかず、速度を落とすすぎると失速して墜落するからです。常に高度、姿勢、速度に気を配りながら進路維持や航空無線への対応がいります。

しかしいつかは実機を操縦してみたいものです。

